

平成26年度 えびの市立上江小中学校「学校運営協議会評価書」

【学校教育目標】 グローバルな視野をもち、主体的に活動するたくましい上江っ子の育成 ～ 主体性・自律心・向上心にあふれた心身共に健康な上江っ子 ～ 【めざす児童生徒像】 ○ 礼儀正しく、元気のある子 ○ 目標をもって、自ら学ぶ子 ○ 責任をもって、確実にやり遂げる子			
項目	手段・ゴールイメージ	学校の自己評価（成果・課題）	改善策
学力の向上	① 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、個に応じた指導方法の工夫改善を図る。（Web学習単元評価システムの活用、習熟度別指導等） ② 系統性・継続性のある教育課程の実施・充実を図る。（小中教師による乗り入れ授業等） ③ 9年間を見通した学習指導・家庭学習の定着を図る。（学習用具、2分前行動、1分前着席等） ④ 系統的なキャリア教育の推進・充実を図る。	①（設問1）個に応じた指導ができています。また、学力の向上を図るため、学力向上委員会を組織し、PDCAサイクルを取り入れた取組の徹底を図った結果、各種テストで学力が向上した。 ② 小中教師による積極的な乗り入れ授業が行われた。教育課程においても小中の教務主任が連絡を取り合い、その充実が図れた。しかし、（設問3）教師は小学校の既習内容の確認が十分ではないと捉えている。 ③（設問2・4・5）学習指導に関して良好な評価であった。平成28年度を見据えて小中が同じ基準で取り組むことが必要である。家庭学習についての取組は事後指導を含め充実していた。 ④（設問6）職場体験学習や社会人の声を聞く会などの取組は充実していたが、年間を通して計画的な取組の充実を図る必要がある。	② 小学校の既習内容の確認が図れるような取組を検討し実践する。 ③ 平成28年度に向けて、小中の分掌部を中心に9年間を見通した一貫校ならではの取組を企画し実践する。 ④ キャリア教育の全体計画に則った、小中一貫校の特色を生かしたキャリア教育に取り組む。
豊かな心の育成	① 元気なあいさつを基本に言語環境の整備を図る。 ② 小中一貫した指導により基本的な生活習慣の定着を図る。（「西諸っ子10の約束」等） ③ 読書活動の充実を図る。 ④ 防災・安全教育の徹底及び危険予知能力の育成を図る。	①（設問7・8）朝のあいさつ運動を中心に「美しいあいさつ日本一」を目指して、生徒会を中心に充実した取組が行われた。あいさつの充実とともに言語環境の整備も整いつつある。 ②（設問9・10）教師・生徒は、共通の基準で生徒指導に取り組んでいると捉えている。今後は、保護者にも見える形での生徒指導の充実を図る必要がある。生徒会活動に関しては、生徒の評価は高いが教師は十分には自発的・自主的な活動の場を与えていないと捉えている。 ③（設問11）読書に関して教師と生徒・保護者の評価に差があり、家読の習慣が十分には身につけていないことが伺える。 ④（設問12）避難訓練や交通安全教室、不審者対応訓練など、外部指導者を積極的に活用して指導を行った。	② 保護者・地域と連携した生徒指導の工夫改善、徹底を図りたい。 ③ 家での読書の習慣を高めるような指導の工夫を図っていききたい。
体力の向上	① 小中一貫した体力向上プラン等を基本に、体力づくりの推進を図る。 ② 立腰指導の充実を図り、正しい姿勢の定着を図る。 ③ 給食指導や「弁当の日」等を通して、食への関心、食事マナーや自己管理能力の育成を図る。	①（設問13）部活動については、生徒・保護者の評価が高く、顧問・生徒・後援会が協力し取り組んだ結果と言える。また、体力向上を目指し、全員「部活の日」を設けるなどした。 ②（設問14）立腰は昨年度から指導しているが、生徒の自己評価から十分には実践できていないとの結果となった。 ③（設問15）年間2回の「弁当の日」の実施した。生徒の評価が高いのは、生徒自らが弁当を作ったからだと言える。	② 立腰の意義を再確認し、生徒の意識を大切にしながら、指導の工夫改善、徹底を図っていききたい。
地域に貢献する人材の育成	① 「えびの学」の充実を図り、地域のよさを理解するとともに地域への関心を高める。 ② 学校支援地域本部事業等の活用を図り、地域の人材・素材を生かした教育活動の充実を図る。 ③ 学校運営協議会や学校評価及び地域への積極的な情報提供により、地域と連携した教育活動を推進する。	①（設問16）「えびの学」で、米作り体験・地域の方々との交流・森林教室などの取組の充実を図った。教師の評価が低いことは、各取組の更なる充実を図っていききたいとの思いからと捉える。 ② 学校支援地域本部事業を通して、交流学习・図書支援・社会人の声を聞く会などで地域の人材を生かすことができた。 ③（設問17・18）学校運営協議会の実施、学校評価の回収率100%、校長室便りの毎月の発行、HPの随時更新、学級だよりの毎週の発行などの積極的な情報提供を行った。	① これまでの取組を検証し、更なる取組の充実を図っていききたい。 ③ 学校運営協議会などで出された意見を真摯に受けとめ、今後も学校の発展に努めていききたい。